

鈴木 博敦	総合政策学部4年(スケート部)
第85回 日本学生氷上競技選手権大会(インカレ) アイスホッケー 団体優勝 最優秀選手賞	
前田 脩吾	経済学部3年(フェンシング部)
第62回 全日本学生フェンシング個人選手権大会(インカレ) 男子サーブル 優勝	
清水 珠夏	文学部3年(女子陸上競技部)
第81回 日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ) 女子走幅跳 優勝 第90回 関東学生陸上競技対校選手権大会 女子走幅跳 優勝 2012日本学生陸上競技個人選手権大会 女子走幅跳 優勝	
山口 兼人	経済学部3年(軟式野球部)
第35回 全日本学生軟式野球選手権大会(インカレ) 団体優勝 最高殊勲選手賞	

—努力賞—

女部田 亮	法学部3年(陸上競技部)
2012日本学生陸上競技個人選手権大会 100m 優勝	
三宅 一輝	法学部1年(陸上競技部)
2012日本学生陸上競技個人選手権大会 大会新記録1500m優勝	
渡邊 奏吾	法学部4年(バレーボール部)
第31回 東日本大学バレーボール選手権大会 団体優勝 最優秀選手賞	
鈴木 雄也	総合政策学部4年(準硬式野球部)
東都大学準硬式野球春季リーグ戦 団体優勝 最優秀選手賞 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦 団体優勝 最優秀選手賞	
安津畑 翔平	経済学部4年(自動車部)
24年度 全関東学生ジムカーナ選手権大会 優勝 24年度 前関東学生ダートトライアル選手権大会 優勝	
宮本 慎矢	法学部2年(スキー部)
第28回 全日本学生アルペンチャンピオンスキー大会 男子回転 優勝	
篠塚 麻衣	商学部2年(女子陸上競技部)
第91回 関東学生陸上競技対校選手権大会 5000m・10000m 優勝 (2種目2連覇)	
米田 知美	文学部4年(女子陸上競技部)
第91回 関東学生陸上競技対校選手権大会 400mハードル 優勝(2連覇) 2012日本学生陸上競技個人選手権大会 400mハードル 優勝(2連覇)	
山本 瑞	法学部1年(女子陸上競技部)
2012日本学生陸上競技個人選手権大会 800m 優勝	
宮本 大幹	法学部3年(剣道部)
第58回 関東学生剣道選手権大会 優勝	
阿部 智	文学部2年(射撃部)
平成24年 東日本学生ライフル射撃選手権大会 10mS60M 優勝	
今井 太陽	法学部4年(射撃部)
平成24年 関東学生ライフル射撃選手権秋季大会 50m3×40 優勝	
中村 龍	法学部2年(拳法部)
第25回 東日本学生個人選手権大会 段の部 優勝	

塩浦 慎理	法学部3年(水泳部)
日本短水路選手権水泳競技大会 50m・100m自由形 優勝	

—優秀監督賞—

池田 浩二	準硬式野球部監督
服部 和彦	自動車部監督
高橋 雄介	水泳部監督
江守 秀次	スケート部監督
門間 健一	射撃部監督
岩崎 正恭	軟式野球部監督

—永年監督賞—

江守 秀次	スケート部監督
吉田 昌直	柔道部監督

—学長賞—

飯塚 翔太	法学部3年(陸上競技部)
舘野 哲也	法学部3年(陸上競技部)
石橋 千彰	総合政策学部3年(水泳部)
服部 聖志	法学部4年(ボクシング部)
赤井 涼香	文学部4年(女子陸上競技部)
高土 哲也	法学部3年(自転車競技部)
木下 竜之	商学部3年(重量挙げ部)
清水 綾乃	商学部4年(射撃部)
清水 珠夏	文学部3年(女子陸上競技部)
府木 真衣	文学部4年(応援部)

—特別賞—

府木 真衣	文学部4年(応援部)
初の女性団長として応援部をまとめ伝統を守る活動が中央大学の名声を大いに高めた。また、全日本学生応援団体連盟発展の功績により24年度連盟特別表彰を受賞。	

**第30回 学員会会長賞**

本賞は、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて優秀な成果を収めた者に授与するものです。

—学術・文化・社会の分野(団体)—

FLPジャーナリズムプログラム 松野 良一ゼミ
(1) 東日本大震災をテーマにした作品「被災地との絆～日の出町から田野畑村へ」が飛騨高山映画祭 Youth Award 2011において最優秀賞・オーディエンス賞を受賞、東京ビデオフェスティバル 2013において優秀作品賞を受賞、読売新聞が大きく報道した。(2) 同フェスティバルにて米軍立川基地拡張反対運動をテーマにした作品「砂川の記憶ー57年目の証言ー」も佳作を受賞、朝日新聞が大きく取り上げた。(3) 作品「グローブマスター機墜落事故」の制作活動を読売新聞、東京新聞が大きく報道、中央大学の名声を多いに高めた。(4) 作品「城南子ども放送局～城南特別支援学校」が京都国際インディーズ映画祭において京都アワードを受賞。

## 学術研究・スポーツ功績への表彰

FLP地域・公共マネジメントプログラム 植野 妙実子ゼミ
今注目され解決を必要とされている保育問題について、執筆論文「保育をめぐる課題と展望」において、アンケートや訪問調査により問題点を洗い出し、優れたまとめ方で解決に向けた現実的な提言を行っている。2部構成となっている論文の第1部「杉並区における保育の現状とのぞまれる解決策」では、アンケートから確かな問題点を浮かび上がらせており、その政策提言は、協力した杉並区からも活用したいと評価されている。第2部「駅型保育の可能性」での提言も、今後の発展が期待できる保育のあり方であり、着眼点が優れている。

### —学術・文化・社会の分野（個人）—

森 比呂夢	商学部 4年
国家試験のなかでも、最も難関とされている公認会計士試験で、全国第9位という優秀な成績で合格したほか、ゼミでもリーダーの1人として積極的に議論をまとめ大いに貢献。	
伊藤 潤平	経済学研究科博士後期課程 経済学専攻
国際公共経済学会において、論文「国際課税制度と法人税率における対外直接投資への効果」で奨励賞を受賞。	
腰塚 真	理工学研究科博士前期課程 精密工学専攻
公益社団法人 日本冷凍空調学会の2012年度日本冷凍空調学会において、会長奨励賞を受賞。	
渡邊 泰英	理工学研究科博士前期課程 精密工学専攻
公益社団法人 自動車技術会において、2012年度大学院研究奨励賞を受賞。	
石田 淳一	理工学研究科博士前期課程 電気電子情報通信工学専攻
IEEE International Workshop on Multimedia Signal Processing of MMSP2012において、TOP 10% PAPER AWARDを受賞。	
加藤 弘之	理工学研究科博士前期課程 電気電子情報通信工学専攻
電子情報通信学会の「第25回 回路とシステムワークショップ」において、奨励賞受賞が決定。	
猪俣 さゆり	理工学研究科博士前期課程 応用化学専攻
世界的に評価が高いヨーロッパの無機化学学術雑誌「European Journal of Inorganic Chemistry」(Wiley-VCH社)の有機金属化学特集号発刊に際し、研究論文「Synthesis, Structure and Catalytic Studies of Well-Defined Allyl 1,2,3-Triazolo-5-ylidene(tzNHC)Palladium Complexes」が高く評価され、表紙の一部に研究を象徴する図が採用。	
紺野 貴史	理工学研究科博士前期課程 応用化学専攻
公益社団法人 有機合成化学協会の第64回有機合成化学協会関東支部シンポジウムにおいて、若手講演賞を受賞。	

富田 大樹	理工学研究科博士前期課程 応用化学専攻
錯体化学会の第62回討論会において、ポスター賞を受賞。	
小林 千鶴	理工学研究科博士前期課程 経営システム工学専攻
応用統計学会の2012年度年会において、優秀ポスター発表賞を受賞。	
柳田 隆一	理工学研究科博士前期課程 精密工学専攻
CLAWAR AssociationのCLAWAR2012において、Best Technical Paper Award内のHighly Commended Paper Awardを受賞。	
高橋 俊市	理工学研究科博士前期課程 電気電子情報通信工学専攻
エレクトロニクス実装学会の第26回エレクトロニクス実装学会春季講演大会において、ポスターアワードを受賞。	
藤 亜由美	理工学研究科博士前期課程 応用化学専攻
公益社団法人 有機合成化学協会の第63回有機合成化学協会関東支部シンポジウムにおいて、若手講演賞を受賞。	

### —スポーツの分野（団体）—

準硬式野球部	
第64回全日本大学準硬式野球選手権大会 団体優勝 (2年連続10回目) 東都大学硬式野球春季リーグ戦 団体優勝 (5季連続54回目) 東都大学硬式野球秋季リーグ戦 団体優勝 (6季連続55回目) 第33回関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦団体優勝 (2年連続4冠達成)	
自動車部	
24年度 全日本総合杯 総合優勝 24年度 全日本学生ダートトライアル選手権大会 (インカレ) 優勝 24年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会 (インカレ) 優勝 24年度 全日本学生自動車運転競技選手権大会 (インカレ) 優勝 (インカレ3冠達成) 24年度 関東学生ジムカーナ選手権大会 団体優勝 24年度 関東学生ダートトライアル選手権大会 団体優賞	
水泳部	
第88回日本学生選手権水泳競技大会 (インカレ) 総合優勝 (2年連続14回目)	
スケート部	
第85回日本学生氷上競技選手権大会 (インカレ) アイスホッケー 団体優勝 (2年連続2回目)	
射撃部	
第25回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会 (インカレ) 女子 総合優勝	
軟式野球部	
第35回全日本学生軟式野球選手権大会 (インカレ) 団体優勝 (初)	

※学年は2012年度現在のものです。

# 学術研究・スポーツ功績への表彰

## — スポーツの分野（個人） —

飯塚 翔太	法学部3年(陸上競技部)
ロンドンオリンピック日本代表 男子4×100m 5位入賞	
館野 哲也	法学部3年(陸上競技部)
ロンドンオリンピック 400mハードル 日本代表	
石橋 千彰	総合政策学部3年(水泳部)
ロンドンオリンピック 800mリレー 日本代表	
服部 聖志	法学部4年(ボクシング部)
第82回日本アマチュアボクシング選手権大会 ライトウェルター級 優勝	
赤井 涼香	文学部4年(女子陸上競技部)
第96回日本陸上競技選手権大会兼オリンピック選考会 女子七種競技 優勝	
第81回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ) 女子七種競技 優勝	
第91回関東学生陸上競技対校選手権大会 女子七種競技 優勝	
高士 拓也	法学部1年(自転車競技部)
第81回全日本アマチュア自転車競技選手権大会 ポイントレース 優勝	
第68回全日本大学対校選手権自転車競技選手権大会 (インカレ)ポイントレース 優勝	
2012ジュニアトラック世界選手権大会スクラッチ10km 優勝	
木下 竜之	商学部3年(重量挙げ)
第72回全日本ウエイトリフティング選手権大会 85キログラム級 優勝	
第58回全日本大学対校ウエイトリフティング選手権大会 85キログラム級 優勝	
第58回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 94キログラム級 優勝	
清水 綾乃	商学部4年(射撃部)
24年度全日本ライフル射撃選手権大会 10mS40W 優勝	
第25回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会 (インカレ2連覇)50mRifle3×20W 優勝	
第8回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 10mS40W 優勝	
24年度関東学生ライフル射撃選手権春季大会 10mS40W 優勝	
平成24年度東日本学生ライフル射撃選手権大会 10mS40W 優勝	
清水 珠夏	文学部3年(女子陸上競技部)
第81回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ) 女子走幅跳 優勝	
第90回関東学生陸上競技対校選手権大会 女子走幅跳 優勝	
2012日本学生陸上競技個人選手権大会 女子走幅跳 優勝	
府木 真衣	文学部4年(応援部)
初の女性団長として応援部をまとめ伝統を守る活動が中央大学の名声を大いに高めた。また、全日本学生応援団体連盟発展の功績により24年度連盟特別表彰を受賞。	

## 第14回 法曹会賞

本賞は、中央大学法曹会が、毎年卒業する学生のうち、学業成績優秀または文化活動に顕著な功績を挙げた卒業生に対して授与するものです。

芥川 希斗	法学部4年
在学4年次に平成24年司法試験合格	

## 第27回 南甲倶楽部賞

本賞は学員会南甲倶楽部が、毎年卒業する学生のうち、学力優秀にて学問研究、文化活動、体育活動および社会活動などの分野において顕著な成果を挙げ、本学の名声を高めると共に本学の発展に寄与した者を対象に授与するものです。(南甲倶楽部は実業界で活躍するO.Bが組織する団体)

鶴 祐輔	法学部4年
法学部卒業生のなかで、在学中の学業成績が優秀でありかつ所属ゼミでの活躍も顕著で、指導教員およびゼミ生からの信頼も厚い。	
花井 将希	経済学部3年
在学中に優秀な成績を残し、東京大学大学院法政学研究所法曹養成専攻専門職学位課程(法科大学院)に合格。また、経済学部4学科の卒業生のなかでも最優秀の学業成績であり、学部学生の模範となるに相応しい。	
西村 真知	商学部4年
本年度商学部卒業生のなかで学業成績が優秀であり、難関とされる公認会計士試験に在学中に合格。また、ゼミにおいても熱心に取り組み、人物面も良好であり、指導教員およびゼミ生などからの信頼も厚い。	
竹内 卓人	理工学部4年
学部4年間を通して常に優秀な成績を維持し、講義と実験だけでなく積極的にサークル活動も行い、理工漫画研究会に所属し当学科のイメージポスターの作成に際しその腕を遺憾なく発揮、さらに2年生の時には、中央大学学生会理工連盟委員長を一年間務め、後楽園キャンパスのサークルをまとめるという大役も果たした。卒業研究では「代謝工学による <i>Anabaena sp. strain PCC 7120</i> のエタノール生産株の作製」というテーマで意欲的に研究に励み成果を挙げた。この研究に打ち込む熱意、論文紹介ゼミでの分かり易くまとめられた発表の仕方は多くの後輩たちの模範となり、大学院進学後もこの姿勢を活かし、大いに活躍してくれるものと確信している。	
日向 未来	文学部4年
英語文学文化専攻在学の4年間、授業や課題に積極的に取り組み非常に優秀な成績を収めたと共に、所属するゼミでは、周到な準備のもとで授業に臨み、発表において発展性のある問題提起を行って、他の学生の学習・研究意欲を刺激する模範的な役割を果たした。卒業論文「否定接頭辞 in- と un- の差異について — 借用接頭辞 in- の勢力の拡大 —」は、専門知識としての現代形態理論を十分に理解した上でのコーパスを用いた実証的な研究であり、その結論はバランスのとれた理論と実践の成果として、複数の査読者から高く評価された。卒業後も、大学で培った知識の習得の仕方、それを独自の議論へ組み立てる力、さらに文章化して発信する能力を最大限に活かし、社会で大いに活躍してくれることを確信している。	
岡 こそえ	総合政策学部4年
学業に加えて課外活動にも注力し、学生団体主催のアジアへのワーキングキャンプや、英国への短期留学、スウェーデンへの長期留学に挑戦し、大きな成果を得た。その集大成といえる卒業論文「自然体験活動を通じた子どもへの環境教育：日本とスウェーデンの比較」は、日本と環境・教育先進国と言われるスウェーデン両国でのフィールドワークの内容が盛り込まれており、優れたものに仕上がっている。社会人としての礼儀をわきまえ、リーダーの資質も兼ね備えた人材として、将来が大いに期待される。	

## 第8回 東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される者に授与するものです。

朱 洵	大学院経済学研究科博士前期課程経済学専攻
修士論文「産業クラスターによる地域開発—中国の揚中市の事例を中心として—」は、理論分析と聞き取り調査を含む実証分析からなり、完成度が高く学術的に大いに貢献するものである。とくにシンガポールや中国での調査では、英語・中国語・日本語の語学力も活かして参加学生全体をリードし、調査を円滑に進めるにあたって、多大な貢献をしてきた。今後も、日本と中国の懸け橋となって活躍することが大いに期待される。	

※学年は2012年度現在のものです。